

展覧会名

水晶とメノウ —ジュエリーをたのしむ3—

会期

2020年3月20日（金・祝）— 2020年6月22日（月）

会場

 山梨ジュエリーミュージアム
 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁）

料金

無料

お問い合わせ

山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

水晶とメノウは、見た目では別の種類の石のように見えますが、同じ石英の仲間です。石英は地球上でもっともよく見られる鉱物で、世界各国で産出されます。水晶といえば無色透明の石英を指しますが、色の違いによって紫水晶や黄水晶、ローズクォーツなどの名がつけられています。メノウは微細な石英結晶の集合体で、多くは不透明で、縞状の模様があるものを指します。内包物を含み縞模様のないものもあります。メノウは自然にはない鮮やかな色彩を生み出すため、染色加工が施されることも多い素材です。

水晶やメノウは古くから装身具に使用されてきた身近な宝石ですが、個性的なジュエリーを生み出す素材としても近年注目されており、より魅力的なジュエリーを目指して新しい挑戦がなされています。

山梨ではかつて水晶が多く採掘され、古くから根付や守り玉、置物などの製品が作られてきました。明治26年頃に水晶工芸と貴金属加工の技術が結びつき、水晶のジュエリーが生み出され、以来、日本有数の宝飾産地として山梨では様々なデザイン・価格帯のジュエリーが制作されています。

本企画展では、伝統的なデザインのジュエリーからモダンなデザインのジュエリーまで、水晶やメノウを用いた多彩なジュエリーを紹介いたします。

主な展示作品



1 カメオ・インタリオ
 制作：株式会社古屋



2 リング
 制作：篠原貿易株式会社



3 ネックレス Race Workシリーズ
 制作：有限会社フリージア



4 桔梗カットネックレス
 制作：株式会社シミズ貴石
 清水幸雄

同時開催

「山梨大学水晶工芸コレクション展」

2020年3月20日（金・祝）－6月22日（月）

山梨大学所蔵の石原宗美水晶工芸コレクション、石川文一水晶工芸コレクションの装身具を中心に展示します。

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載（公開）予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛（jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp）にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等を行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度（300-400dpi）とオンライン用の低解像度（72dpi）の2種類の画質をご用意しております。